

支援プログラム

ふれんどクラブたんぽぽ

作成日：令和6年8月30日

法人理念		あなたと共に素敵な未来を創る ～寄り添い・支え合う地域の共同体～		
支援方針		一人一人が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ると共に、意志及び人格を尊重して、常に児童の立場に立ったサービスの提供を確保する。		
営業時間		(登校日の就業期間) 10時00分～19時00分 (長期休み就業期間) 9時30分～18時30分	送迎実施の有無	<div>あり</div> ・なし 帰りは、駒形と日吉にバス停を設け、希望者のみ送迎を行っている。
支援内容				
本人支援	健康・生活	健康の維持や睡眠、食事、排泄、清潔、挨拶といった身に付けるべき基本的生活習慣の他、自立に向けて着替え、畳む、ほうき掃き、モップ掛け、アイロン掛け、ごみの分別などの動作を学ぶ。		
	運動・感覚	様々な感覚器具を使用し、前庭覚系に刺激を与えることで身体のバランス感覚を養い、皮膚感覚への刺激を経験する中で、触覚防衛反応を軽減することを学びます。音楽を通して視覚・聴覚・知覚を高める。		
	認知・行動	個々に合わせて、数字やお金などの概念理解、言語理解力を育てていきます。認知の偏りに対する予防（誤学習）と状況に応じた適切な行動への対応力を養う。		
	言語 コミュニケーション	指示性訓練や認知課題などを通して、言語理解を高めると共に正しく応じる力を身に付け、社会生活における関係性やコミュニケーション力を高める。また、CSSB 訓練で“吸う・吐く・噛む・飲む”を行うことで、呼吸をコントロールできるようになり発語器官の発達を促す。		
	人間関係 社会性	集団活動を行う中でのルールに基づく行動（一斉動作や設定遊びなど）や社会参加の経験（社会見学や買い物練習など）を通して、他者との関係や社会性の向上を図り、適応力を養う。		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 送迎サービスを行う。 日中一時支援や預かりニーズに対応した延長支援を行っている。 家族の困りごとに寄り添い気持ちを受け止め助言・提案を行っている。 保護者と職員間との信頼関係を築く為、保護者懇談会などを行っている。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行（進学や就労）に向けた、相談援助を行っている 就労に向け、就労支援施設との連携を図っている。
地域支援 地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園に出かけ、社会のルールを学ぶようにしていく。 遊びや体験などで交流の場を広げるようにしていく。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 研修を実施し、スキルアップしていく。 身体拘束や虐待について、常に意識を持つために研修などを行っている。
主な行事		4月 始業日 6月 保護者懇談会 7月 夏祭り 8月 社会見学・親子行事 10月 ハロウィン 11月 見学週間・保護者懇談会 12月 参加日 1月 初詣 3月 お別れ会（親子行事）・社会見学		